

Coffee Market Report



INTERNATIONAL
COFFEE
ORGANIZATION

February 2026

供給見通しの改善がICO総合指標価格を押し下げた

2026年2月のICO複合指標価格の平均は267.57セントとなり、2026年1月から9.9%低下した。下落の主因は供給見通しの改善であり、これにはブラジルの強い生産予測が含まれ、2025/26コーヒー年度には世界のコーヒー供給が余剰になるとの見通しが背景にあった。

- ・ コロンビアマイルドおよびアザーマイルドの価格は、2026年2月に2026年1月比でそれぞれ11.0%および11.7%反落し、平均330.89セントおよび321.35セントとなった。ブラジルナチュラルの価格は2026年2月に10.2%縮小し308.62セントとなった。同月、ロブスタは6.6%低下し179.73セントとなった。
- ・ ロンドンとニューヨークの先物市場の間のアービトラージは、2026年2月に20.7%縮小し122.70セントとなった。

世界の生豆輸出は2026年1月にも増加を続け、1,085万袋に達した。これは2025年1月の963万袋から12.7%増加したものであり、内訳は以下のとおりである。

- ・ ロブスタの輸出は、2025年1月の352万袋から2026年1月には525万袋へと49.1%増加した。
- ・ コロンビアマイルドの輸出は、2025年1月の123万袋から2026年1月には99万袋へと19.5%減少した。
- ・ アザーマイルドの出荷は、2025年の同時期の145万袋から2026年1月には194万袋へと33.8%増加した。
- ・ ブラジルナチュラルの輸出は、2025年1月の342万袋から2026年1月には266万袋へと22.2%減少した。

その結果、2025/26コーヒー年度の最初の4か月における生豆輸出全体に占めるアラビカの比率は、前年同期の66.4%から61.1%へと低下した。

全形態のコーヒーの世界輸出は、2025年1月の1,110万袋と比較して2026年1月に13.7%増加し、1,262万袋となった。4地域のうち3地域で輸出量が拡大し、南米だけが減少を経験した。

- ・ アジア・オセアニアからの全形態のコーヒー輸出は、2025年1月の380万袋から587万袋へと54.4%増加した。
- ・ アフリカからの全形態のコーヒー輸出は、2025年1月の110万袋から127万袋へと15.3%増加した。
- ・ 南米の全形態のコーヒー輸出は、2025年1月の508万袋から400万袋へと21.3%減少した。
- ・ メキシコ・中米からの全形態のコーヒー輸出は、2025年1月の111万袋と比較して148万袋へと33.5%増加した。

生豆価格

2026年2月のICO複合指標価格の平均は267.57セントとなり、2026年1月から9.9%低下した。2026年2月のコーヒー価格は下落傾向を示した。



コロンビアマイルドおよびアザーマイルドの価格は、2026年2月に2026年1月比でそれぞれ11.0%および11.7%反落し、平均330.89セントおよび321.35セントとなった。ブラジルナチュラルの価格は2026年2月に10.2%縮小し308.62セントとなった。同月、ロブスタは6.6%低下し179.73セントとなった。ロンドンのICE市場の価格は7.9%低下して166.06セントとなり、ニューヨークのICE市場の価格は2026年2月に13.8%低下して288.76セントとなった。

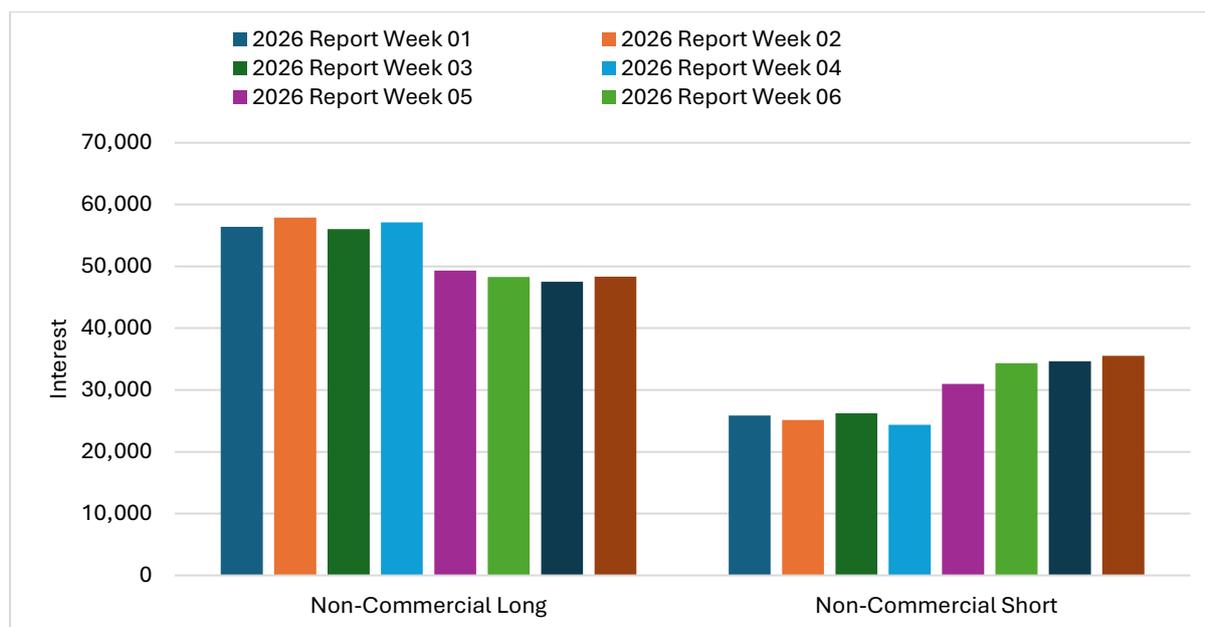
2026年2月は、世界コーヒー産業にとって重要な転換点となった。ICO複合指標価格は、2025年8月1日以来の最低水準に低下した（249.12セント）。主たる要因は、ブラジル国家食料供給公社（Companhia Nacional de Abastecimento: CONAB）によるブラジルの記録的な作柄予測、ブラジルの主要コーヒー生産地であるミナスジェライス州で好条件の降雨が確認されたこと、さらにベトナムでも降雨が良好であったことを受け、世界の供給バランスが見直されたことであった。季節要因、為替動向、商業焙煎業者の買い付けによる断続的な下支えは、支配的な弱気トレンドを相殺するには不十分であった。市場構造は依然としてバックワーデーションの状態にあり、短期の現物供給が引き続き逼迫していることを示している一方で、先行きのファンダメンタルズは下方リスクの拡大を示している。ラボバンクは、3年連続の供給不足の後に、2026/27年度には約864万袋の供給余剰を見込んでいる。同様に、世界銀行は暦年2026年のアラビカ価格が13%低下すると予想している。

2026年2月の価格変動は、以下のとおり3つの局面に分類することができる。

第1局面 — 下落の加速（2月1日～6日）

- 月初の数日間、ブラジルの主要コーヒー生産地で十分な降雨があったとの報告と、ベトナムからの強い輸出フローを受け、価格は1月末に見られた下向きの動きを継続した。さらに、2月5日に公表されたCONABの予測（6,620万袋、前年比17.1%増）が、2026年のブラジルの作柄が強いとの見通しを裏付けた。
- 価格が330セントの節目を決定的に下抜けすると、自己強化的な清算の力学が生じた。特に、投機市場に典型的な古典的「スノーボール」メカニズムが作用し、非商業部門のロングポジションの清算と、商業部門および非商業部門を合わせたショートポジション総量の積み上がりが見られ、価格下落を加速させた。これは図Aに示されており、非商業ロングポジションは2026年1月27日から2026年2月3日にかけて15.8%減少した。
- 加えて、建玉は2026年2月3日から17日にかけて14.6%減少し、156,64枚となった。

図A：アラビカ市場における商品先物取引委員会の建玉 出典：CFTC



第2局面 — 中旬のみみ合いと踊り場（2月6日～16日）：

- この期間には、ベトナムの国内供給を減少させたテト（ベトナムの旧正月）休暇に支えられ、一時的な価格安定が生じた。同国では、春の到来を祝う最も重要な1週間の祝祭が2月14日から21日にかけて行われた。この間、ハノイやホーチミン市などの大都市は、多くの住民が帰省したため静かになり、多くの企業も最初の3日から5日間は休業した。

- 月中にブラジルリアル（BRL）が米ドルに対して上昇したことにより、ブラジル農家の先売りインセンティブは低下した（ドル／リアルは2月2日の5.2594に対し、2月25日には5.1242となり、2.6%のリアル高となった）。リアル高になると、米ドル建て先物契約から得られるリアル建て受取額が減少するため、生産者にとって先渡し販売が魅力的となる価格水準は実質的に切り上がる

- ユーロ／米ドル相場の上昇はロブスタ価格に補完的な下支え効果を及ぼした。これは、ベトナムのコーヒー輸出の約60%を占める欧州の買い手が、米ドル建て契約に対してユーロ建てでより低いコストに直面し、購買力が高まって限界的な需要が維持されたためである。

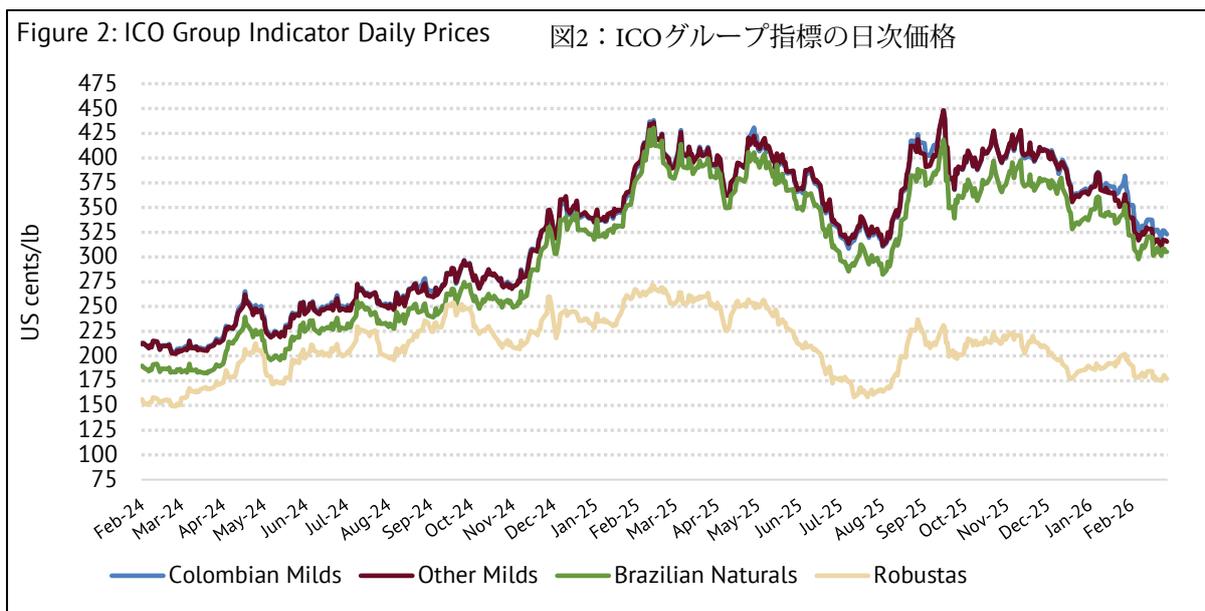
第3局面 — 2回目の下落局面と安定化（2月16日～27日）

- アラビカからロブスタへの代替が、焙煎業者のブレンド配合の再構成を促しており、アラビカ需要を徐々に弱める一方でロブスタ需要を支えている。過去12か月間では、ロブスタ在庫の減少率がアラビカを上回り、ロンドン先物市場では33%縮小した（月次平均ベース）。これに対し、ニューヨーク市場では25%の減少であった。実際、アラビカ価格がロブスタのほぼ2倍という高水準に持続的にとどまっていることが、ブレンド判断にますます影響を与えている。技術的にブレンド内でアラビカをロブスタに代替できる商業焙煎業者は、そのような代替を進めており、これがロブスタに追加的需要を生み出す一方で、アラビカ需要を緩和してきた。この代替効果は、月後半の価格の下支えと安定化に寄与した。

- 消費者価格圧力として、米国の小売コーヒー価格は2026年1月に前年比18.3%上昇し、5年間の累積上昇率は47%に達した。消費者債務の圧力上昇は、芽生えつつあった需要の軟化を示しており、長期的な弱材料として作用している。

さらに、2月を通じて先渡し曲線の形状は著しいバックワーデーションの状態を維持し、期近契約が期先月よりかなり高いプレミアムで取引された。市場構造の観点からみると、これは現物在庫保有者に対し、在庫を保有し続けることによるキャリー収益がマイナスであるため、取引所へ受け渡す合理的なインセンティブを生み出す。したがって取引所への受渡しは発生したが、取引所在庫は依然として歴史的平均を下回っている。

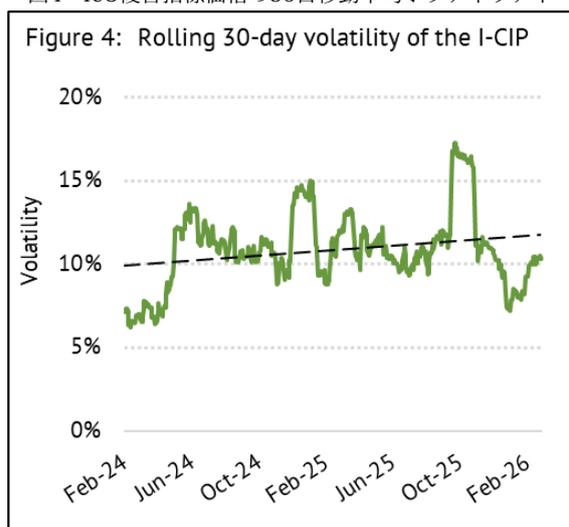
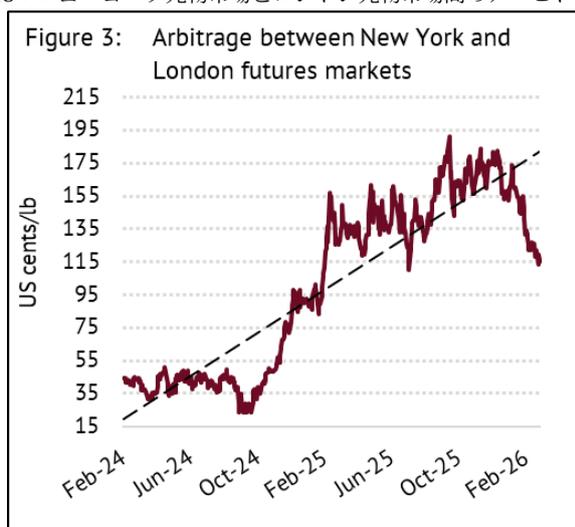
これは、足元のコーヒー需要が依然として堅調であることを示唆している。



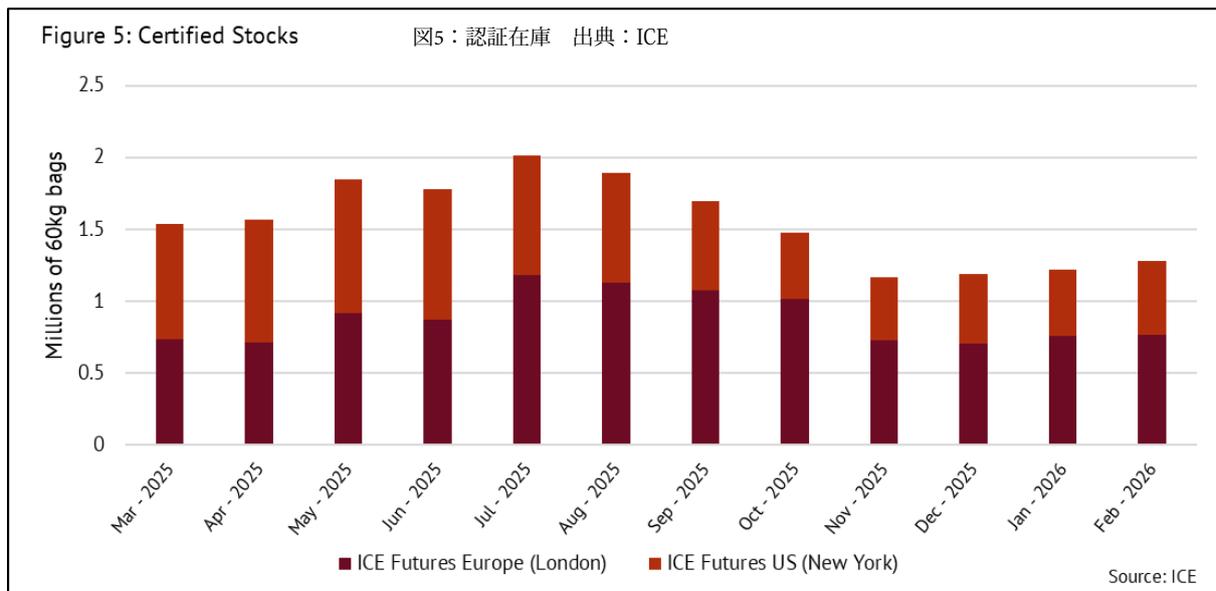
コロンビアマイルドとアザーマイルドの価格差は、2026年1月から2月にかけて7.65セントから9.54セントへ拡大した。コロンビアマイルドとブラジルナチュラルの価格差は20.0%縮小して22.27セントとなり、コロンビアマイルドとロブスタの価格差も同方向に動き、2026年1月から2月にかけて15.6%減少して151.16セントとなった。一方、アザーマイルドとブラジルナチュラルの価格差、およびアザーマイルドとロブスタの価格差は、それぞれ36.9%および17.4%低下し、12.73セントおよび141.62セントとなった。ブラジルナチュラルとロブスタの価格差は、2026年2月に14.8%縮小して128.89セントとなった。

ロンドンとニューヨークの先物市場の間のアービトラージは、2026年2月に20.7%縮小し122.70セントとなった。

図3: ニューヨーク先物市場とロンドン先物市場間のアービトラージ 図4: ICO複合指標価格の30日移動平均ボラティリティ



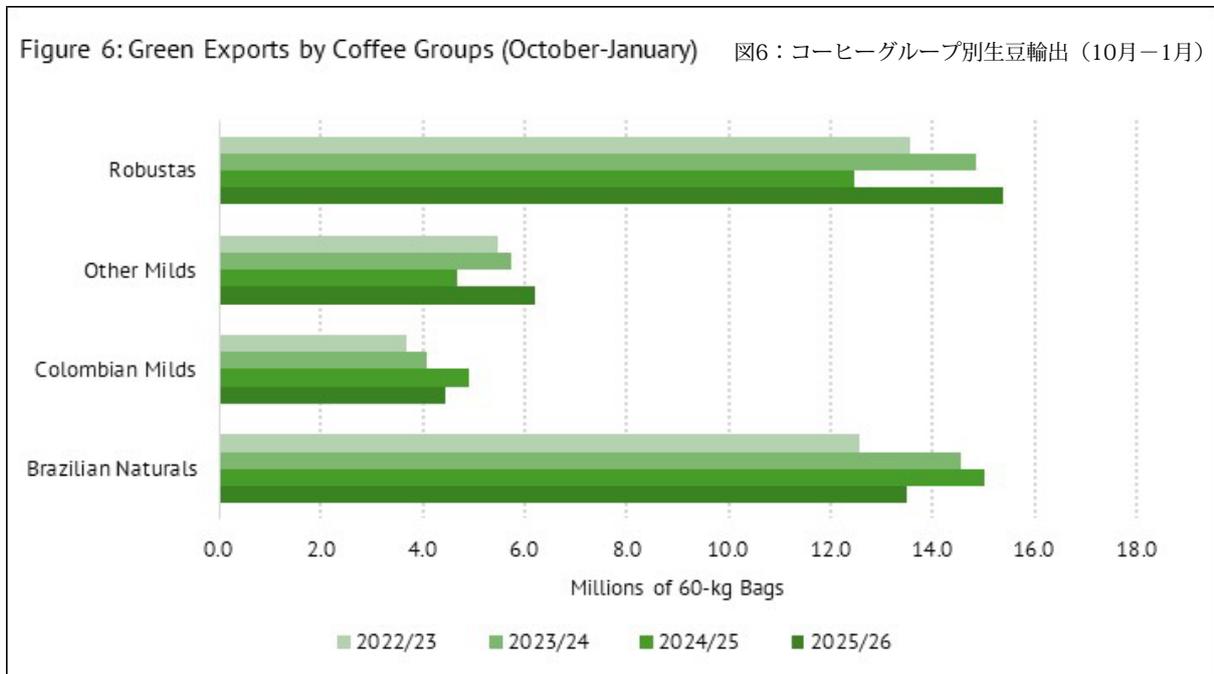
ICO複合指標価格の日中ボラティリティは、2026年1月比で1.8ポイント上昇し、2026年2月平均で9.9%となった。コロンビアマイルドおよびアザーマイルドのボラティリティも同様の動きを示し、それぞれ9.0%および10.1%へ上昇した。一方、ブラジルナチュラルのボラティリティは前月比1.5ポイント上昇して2026年2月に11.9%となった。ロブスタのボラティリティは10.2%に上昇した。ニューヨークおよびロンドンの先物市場では、ボラティリティはそれぞれ10.4%および10.7%となり、2026年1月と比較して2026年2月にはそれぞれ1.1ポイントおよび3.0ポイント上昇した。



ロンドンのロブスタの認証在庫は、2026年1月から2月にかけて0.7%増加し、月末時点で76万袋となった。米国のアラビカの認証在庫も同様の動きを示し、52万袋へ増加した。これは2026年1月比で12.0%の増加であった。

コーヒーグループ別輸出 — 生豆

2026年1月の世界の生豆輸出は合計1,085万袋となり、2025年1月の963万袋と比較して12.7%増加した。4グループにわたる動きは3か月連続で同じ構図のまま混在しており、アザーマイルドとロブスタの輸出は増加した一方で、ブラジルナチュラルとコロンビアマイルドの出荷は減少した。



ロブスタの生豆輸出は、2025年1月の352万袋から2026年1月には525万袋へと49.1%増加した。主としてこれを牽引したのはベトナムであり、その出荷は73.3%増加して369万袋となった。インド、インドネシア、ウガンダもすべて前向きに寄与し、これら3か国の合計輸出は、2025年1月の100万袋から120万袋へと20.4%増加した。これらの増加は一部ブラジルによって相殺され、同国のロブスタ輸出は25.0%減少して18万袋となった。このブラジルからの輸出減少と、インド、インドネシア、ウガンダ、ベトナムからの出荷増加というパターンは、2025/26コーヒー年度の最初の4か月の間を通じて持続している。

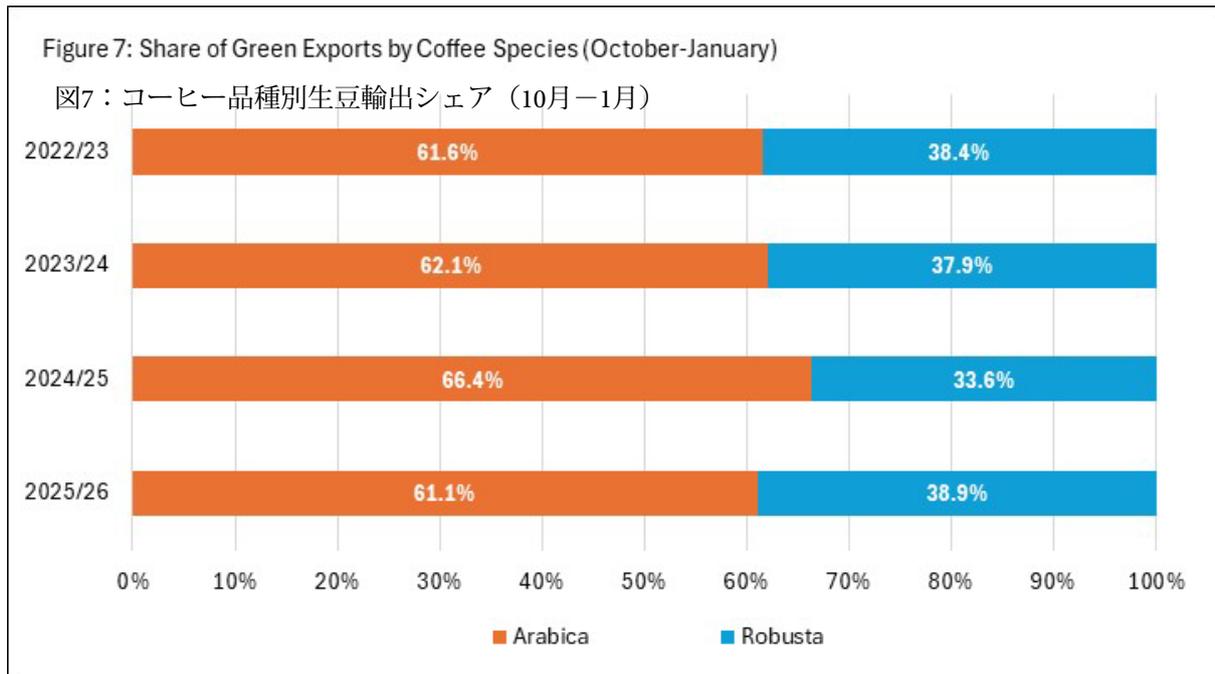
ベトナムとブラジルの場合、急激な前年比変化は、構造的な変化というより大部分が正常化を反映したものである。すなわち、ベトナムは供給要因による落ち込みから回復し、ブラジルは、インドネシアとベトナムからの出荷抑制によって世界のロブスタ供給に空白が生じていた2022/23コーヒー年度の最後の3か月から2024/25コーヒー年度の最初の3か月にかけて見られた異例に高い輸出水準から後退した。ブラジルは2023/24年度に937万袋を輸出しており、これは5年平均の352万袋を大きく上回っていた。これに対して、ウガンダの成長は構造的なものともみられ、2023/24年度半ば以降、輸出は持続的な上昇軌道にある。2024/25年度の出荷は過去最高の732万袋に達し、生産増加、国際価格高騰、在庫取り崩しの拡大に支えられた。ウガンダは2030年までに2,000万袋の生産という公式目標を掲げている。

コロンビアマイルドの輸出は、2025年1月の123万袋から2026年1月には99万袋へと19.5%減少した。これは25か月連続の拡大の後に生じた3か月連続のマイナス成長となった。コロンビアの輸出は、2025年1月の109万袋と比較して22.1%減少し85万袋となったが、これは国内供給の減少によってもたらされた（追加的な考察については「地域別輸出 — 全形態のコーヒー」を参照）。生産と輸出とのこの因果関係は意外ではない。過去15年間、すなわち2010/11年度から2024/25年度までにおいて、生産量の平均86.2%が生豆として輸出されてきたためである。

アザーマイルドの出荷は、2025年の同時期の145万袋から2026年1月には194万袋へと33.8%増加した。ホンジュラスとニカラグアが、このグループの二桁成長の主要な牽引役であり、2026年1月の輸出はそれぞれ53.0%および108.0%増加した。同地域の二桁成長率の主因は、当年度と前年度の収穫開始時期の不一致であった。今期の収穫は通常より2か月遅れて始まり、その結果、出荷が現在の報告期間にずれ込んだ（追加的な考察については「地域別輸出 — 全形態のコーヒー」を参照）。

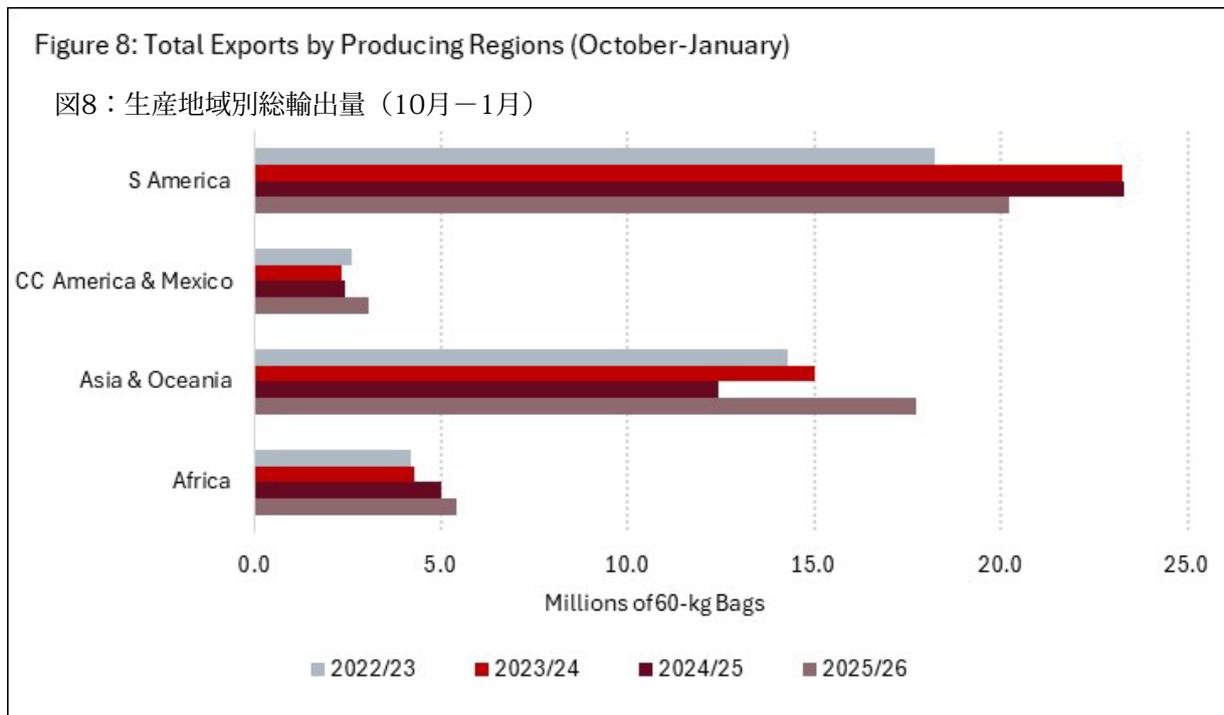
ブラジルナチュラルの生豆輸出は、2025年1月の342万袋から2026年1月には266万袋へと22.2%減少した。ブラジルナチュラルは、2026年1月に11か月連続のマイナス成長を記録したが、主としてブラジルによって押し下げられた。ブラジルの輸出は、1年前の311万袋から24.7%減少して235万袋となった。2020/21年度から2024/25年度のコーヒー年度の間、ブラジルはこのグループの輸出の平均85.3%を占めており、その動向が全体の趨勢を決定する主要因となっている。最近の減少は、ブラジルのアラビカ生産の循環的性格、2023/24年度に観察された記録的高水準の表作輸出（21.7%増）の反動、さらにおそらく2025年の米国関税引き上げの影響を反映している。

アラビカの総輸出は、2025年1月の610万袋から8.3%減少し、2026年1月には559万袋となった。その結果、2025/26コーヒー年度最初の4か月における生豆輸出全体に占めるアラビカの比率は、前年同期の66.4%から61.1%へと低下した。



地域別輸出 — 全形態のコーヒー

世界の全形態のコーヒー輸出は、2025年1月の1,110万袋と比較して2026年1月に13.7%増加し、1,262万袋となった。輸出量は4地域のうち3地域で拡大し、南米だけが減少を経験した



アジア・オセアニアからの全形態のコーヒー輸出は、2025年1月の380万袋から2026年1月に587万袋へと54.4%増加した。同地域の二桁成長はベトナムが主導し、その輸出は前年の259万袋から67.0%増の433万袋となった。2026年1月の輸出は同月として新記録を更新し、従来の1月の記録であった2024年の401万袋を7.9%上回った。2025/26コーヒー年度の生産が大豊作になるとの見通しが、ベトナムの記録的輸出の主因であり、市場予想では2024/25年度と比較して6～12%の増産が見込まれている。

インドとインドネシアも同地域の二桁成長を支え、両国の輸出合計は2025年1月の111万袋から2026年1月には135万袋へと21.6%増加した。

アフリカからの全形態のコーヒー輸出は、2025年1月の110万袋から2026年1月には127万袋へと15.3%増加した。2026年1月の拡大は大部分がウガンダによって牽引され、その輸出は前年の55万袋から25.1%増加して推計69万袋となった。ウガンダの輸出は2023/24年度半ば以降急速な上昇軌道にあり、2024/25年度には初めて700万袋から800万袋のレンジを突破し、826万袋に達した。この成長は主として生産増加によってもたらされており、これが直近の輸出増加の背景にもなっている可能性が高い。2025/26年度には、ウガンダの生産はさらに拡大すると予想されており、一部の推計では10%を超える成長が示唆されている。

南米の全形態のコーヒー輸出は、2025年1月の508万袋から2026年1月には400万袋へと21.3%減少した。南米は、16か月連続のプラス成長の後、2026年1月に15か月連続のマイナス成長を記録した。この減少は大部分がブラジルによってもたらされ、同国の総輸出は377万袋から25.5%減少して281万袋となった。ブラジルは、ベース効果と、特に2023/24コーヒー年度の国際ロブスタ市場の供給空白の後における、インドネシアおよびベトナムからの供給正常化の影響を受けてきた。同供給空白により、ブラジルのロブスタ生豆出荷はその隙間を埋め、937万袋という異例に高い水準に達していたが、これは2018/19年度から2022/23年度の5年平均352万袋を大きく上回るものであった。ブラジルの全形態のコーヒー輸出は、2024/25年度には5,010万袋となり、2018/19年度から2022/23年度の5年平均4,092万袋と比較して35.1%増加していた。インドネシアとベトナムの供給が2024/25年度および2025/26年度に正常水準へ戻ったことから、ブラジル、ひいては南米の輸出が減少することは避けられなかった。

コロンビアの輸出は、2025年1月の116万袋から2026年1月には94万袋へと19.4%減少した。これはコロンビアにとって2か月連続の減少であり、その主因は生産減少にある。コロンビア全国コーヒー生産者連合会は、2026年1月の生産が2025年1月の136万袋から89万袋へと34.1%減少したと報告した。

メキシコ・中米からの全形態のコーヒー輸出は、2025年1月の111万袋と比較して2026年1月には148万袋へと33.5%増加した。これは、2024/25年度の終了時と2025/26年度の開始時に地域全体が2か月連続の縮小を記録した後に続く、2か月連続のプラス成長であった。同地域の直近の成長は主としてホンジュラスとニカラグアによって牽引され、その輸出は2025年1月の37万袋および17万袋と比較して、それぞれ53.0%および101.5%増加し、56万袋および33万袋となった。

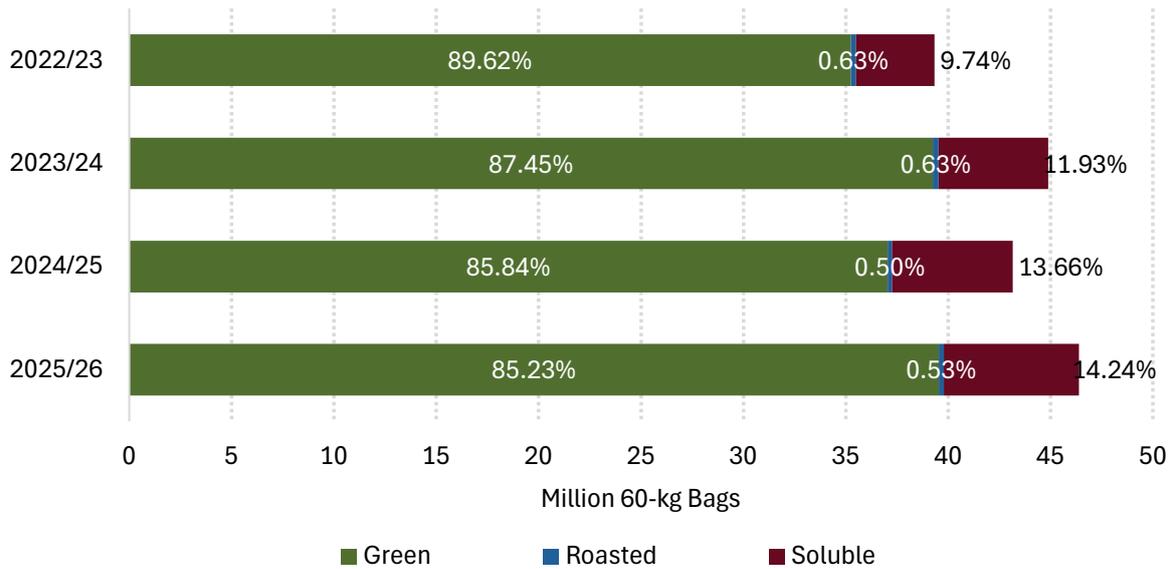
メキシコ・中米地域の大部分は、2024年1月から6月中旬にかけて広範な干ばつに見舞われ、さらに2024年5月には強い熱波も伴い、開花に悪影響を与えたと報告された。その後、2024年7月以降は過剰降雨が続き、2024年11月には熱帯暴風雨サラの影響も加わって、成熟過程が遅延し、2024/25コーヒー年度の収穫開始は通常の前年より2か月遅い2026年1月にずれ込んだ。これに対し、2025/26年度の収穫は、報告によれば予定どおり10月に始まった。通常、収穫開始から最初の輸出までには2〜3か月のラグがあるため、この地域、特にホンジュラスとニカラグアでは、2つのコーヒー年度の新穀供給の放出時期のずれによって二桁成長率が記録された。

形態別コーヒー輸出量

生豆は輸出されるコーヒーの最大形態であり、2025/26コーヒー年度最初の4か月において総輸出の85.23%を占めた。一方、ソリュブルおよび焙煎コーヒーは、それぞれ14.24%および0.53%を占めた。

Figure 9: Total Exports by Form (October-January)

図9：形態別総輸出（10月－1月）



ソリュブルコーヒーの総輸出は、2025年1月の142万袋から2026年1月には170万袋へと19.6%増加した。2026年1月のソリュブルコーヒーの最大輸出国はベトナム、インドネシア、ブラジルであり、それぞれ57万袋、32万袋、27万袋を出荷した。焙煎豆の輸出は、2026年1月に56.0%減少し、7万袋に達した。これは2025年1月の4万袋と比較したものである。

(表1：ICOの日次指標価格および先物価格 (US cents/lb)

	ICO Composite	Colombian Milds	Other Milds	Brazilian Naturals	Robustas	New York*	London*
Monthly averages							
Mar-25	347.85	404.97	404.02	392.48	257.61	382.75	247.63
Apr-25	335.76	394.14	392.84	378.27	246.39	370.37	235.69
May-25	334.41	395.59	397.84	380.02	237.76	368.21	224.63
Jun-25	295.06	360.08	363.16	338.53	196.21	329.56	183.21
Jul-25	259.31	322.37	325.50	297.04	167.19	289.17	153.43
Aug-25	297.05	366.72	366.32	336.88	199.13	328.57	181.43
Sep-25	324.62	403.77	400.21	374.91	210.85	366.31	197.56
Oct-25	326.38	403.25	403.79	373.47	215.06	366.00	202.16
Nov-25	330.44	408.75	410.31	380.17	214.91	373.57	202.33
Dec-25	304.68	382.32	381.14	355.38	190.53	347.71	178.87
Jan-26	296.89	371.59	363.94	343.77	192.52	334.99	180.23
Feb-26	267.57	330.89	321.35	308.62	179.73	288.76	166.06
% change between Jan-26 and Feb-26							
	-9.9%	-11.0%	-11.7%	-10.2%	-6.6%	-13.8%	-7.9%
Volatility (%)							
Jan-26	8.1%	8.5%	8.7%	10.4%	7.8%	9.3%	7.8%
Feb-26	9.9%	9.0%	10.1%	11.9%	10.2%	10.4%	10.7%
Variation between Jan-26 and Feb-26							
	1.8	0.5	1.4	1.5	2.4	1.1	2.9

* Average prices for 2nd and 3rd positions

*Volatility variation is rounded

表2：価格差 (US cents/lb)

	Colombian Milds	Colombian Milds	Colombian Milds	Other Milds	Other Milds	Brazilian Naturals	New York*
	Other Milds	Brazilian Naturals	Robustas	Brazilian Naturals	Robustas	Robustas	London*
Mar-25	0.95	12.49	147.37	11.54	146.42	134.87	135.11
Apr-25	1.30	15.87	147.75	14.57	146.44	131.87	134.67
May-25	-2.25	15.57	157.83	17.83	160.09	142.26	143.58
Jun-25	-3.08	21.55	163.86	24.63	166.95	142.32	146.35
Jul-25	-3.13	25.32	155.17	28.45	158.31	129.85	135.74
Aug-25	0.41	29.84	167.60	29.43	167.19	137.76	147.14
Sep-25	3.56	28.86	192.92	25.30	189.36	164.07	168.75
Oct-25	-0.54	29.78	188.19	30.32	188.73	158.41	163.84
Nov-25	-1.56	28.59	193.84	30.14	195.40	165.26	171.24
Dec-25	1.18	26.95	191.80	25.76	190.61	164.85	168.85
Jan-26	7.65	27.83	179.08	20.18	171.43	151.25	154.75
Feb-26	9.54	22.27	151.16	12.73	141.62	128.89	122.70
% change between Jan-26 and Feb-26							
	24.7%	-20.0%	-15.6%	-36.9%	-17.4%	-14.8%	-20.7%

* Average prices for 2nd and 3rd positions

表3：世界需給バランス

Coffee year commencing	2021	2022	2023	2024	% change 2023/24
PRODUCTION	165,092	165,785	168,707	177,513	5.2%
Arabica	91,737	93,876	97,674	102,065	4.5%
Robusta	73,356	71,910	71,033	75,448	6.2%
Africa	19,589	18,865	21,173	22,782	7.6%
Asia & Oceania	51,063	49,275	46,035	49,637	7.8%
Caribbean, Mexico & Central America	18,053	18,214	17,161	18,304	6.7%
South America	76,388	79,431	84,338	86,790	2.9%
CONSUMPTION	170,500	176,855	172,578	175,071	1.4%
Exporting countries	54,438	55,664	56,344	57,742	2.5%
Importing countries (Coffee Years)	116,062	121,191	116,233	117,329	0.9%
Africa	12,677	12,446	11,566	12,145	5.0%
Asia & Oceania	42,422	43,534	44,163	47,447	7.4%
Caribbean, Mexico & Central America	5,752	5,980	5,957	6,172	3.6%
Europe	52,350	56,001	54,178	53,552	-1.2%
North America	30,228	31,324	28,694	27,745	-3.3%
South America	27,071	27,570	28,020	28,010	0.0%
BALANCE	-5,407	-11,070	-3,871	2,443	
*preliminary estimates	0.00	0.00	0.00	0.00	

表4：輸出国別総輸出量

	Jan-25	Jan-26	% change	Year to Date Coffee Year		
				2024/25	2025/26	% change
TOTAL	11,096	12,618	13.7%	43,148	46,384	7.5%
Arabicas	6,746	6,280	-6.9%	27,237	26,835	-1.5%
<i>Colombian Milds</i>	1,300	1,079	-17.0%	5,246	4,769	-9.1%
<i>Other Milds</i>	1,713	2,244	31.0%	5,728	7,335	28.1%
<i>Brazilian Naturals</i>	3,733	2,957	-20.8%	16,263	14,730	-9.4%
Robustas	4,349	6,338	45.7%	15,911	19,549	22.9%

In thousand 60-kg bags

Monthly trade statistics are available upon subscription

表5：ニューヨーク及びロンドンの先物市場認証在庫

	Mar-25	Apr-25	May-25	Jun-25	Jul-25	Aug-25	Sep-25	Oct-25	Nov-25	Dec-25	Jan-26	Feb-26
New York	0.80	0.85	0.93	0.91	0.83	0.77	0.62	0.47	0.44	0.48	0.46	0.52
London	0.74	0.71	0.92	0.87	1.18	1.13	1.08	1.01	0.73	0.71	0.76	0.76

In million 60-kg bags